RESULTS
the power to end poverty

飢餓と貧困をなくすための政策提言を行う国際市民グループ
日本リザルツ

action
Advocacy to Control TB Internationally

内閣総理大臣　野田佳彦　様

2012 年 7 月 5 日

　初めまして、私共は、特定非営利活動法人日本リザルツという団体です。
当団体では、東日本大震災支援に際し、2011 年 3 月から被さい地の現地調査を開始しました。
2011 年 7 月からは、釜石市と周辺自治体の仮設住宅を一軒一軒(総数約 20,050 軒)を巡回し、生活や事業再建のための被さい者の最新ニーズや意向の聞き取り調査を続け、2011 年 10 月 14 日までに計 733 人から声を集めました。
　また、それ以降も、「専門家等の出張形式相談会」を行いながら、仮設住宅等の住民の方々の声を集め、生活再建・事業再建の支援に努めております。この度は、7 月 7 日の七夕に向けて住民の方々と一緒に、野田内閣総理大臣宛てにメッセージ(要望)を作成致しました。短冊に書かれた一文は、数行ではありますが、そこには、住民の方の思いや願いが込められています。
　私共としては、住民の方と行政の方とが、より良く繋がっていくためのお手伝いが、少しでも出来たら・・・と
いう思いで活動しております。連日の激務で本当にお忙しいことと思いますが、
どうぞ、一つ一つ目を通して、住民の方の声を少しでも近くに感じて頂けないでしょうか？

記

七夕短冊　住民からの声	年齢	性別	仮設
・野田総理大臣　釜石市箱崎町の仮設住宅に是非来てください。	63歳	女性	箱崎C 仮設住宅
・野田総理大臣へ　ぐだぐだ言う前に被災地を見廻してください。	60代	男性	
・野田総理大臣　釜石市箱崎町の仮設住宅にきてください。 天皇陛下をみならって下さい。	62歳	男性	
・野田総理大臣へ　決まった決ったと言うけれど、どこに道路を作るの かね…道路が決まると家も建てれます。　　小林キク	60代	女性	
・もう二度とこんな津波がありませんように。愛知にしばらくお世話になり ましたが、やはり自分がすみなれた箱崎町で仮設を出たあとも暮らしたい。	70代	女性	
・平成一二年三月十一日から今日で二年二か月になろうとしています。	88歳	女性	
・箱崎町の復興は、まだ見えていません。 一日でも早く、つち音が聞きたい。	80代	男性	
・早く安心できる住みかがほしい。	40代	女性	
・野田総理大臣へ　具体的な計画が明確にならないと何も前へ進めず困ります。	60代	男性	
・復興住宅を待っていたら俺たちは死んでしまう。	80代	夫婦	
・一戸建住宅をほしいんですが、一人住居でも１ＤＫだけでは狭いので そういう事も考えて下さい。	20代	女性	
・仮設住宅の風呂のおいだき機能をつけるよりも、もっと必要なところに お金をかけてほしいです。	20代	女性	
・仮設住宅に何年住まわせる気ですか風呂の追い焚き・物置小屋よりも 大切なことがあるのでは。	68歳	男性	
・電力の制度がおかしい。電気料金の値上げは我々を苦しめる。	60代	男性	
・早く道路計画を実施してください。	64歳	女性	

・政治って何。自民党と何をしてるの。素人にわかりやすい政治を	80歳	男性	
・復興道路 早期実現　よろしく!!	62歳	男性	甲子町 第7 仮設住宅
・早く安全な場所で安心して住める一戸建てが欲しいよう・・・	60代	女性	
・早く普通の生活に戻りたい。住宅ローンをどうにかしてください。	50代	女性	
・若い人達が遊べるｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄﾊﾟｰｸを作って、若い人達が出て行かない町づくりが必要	20代	女性	
・先の目途さえはっきりしてれば仮設で毎日暮らしながら「がんばり」ができます。	64歳	男性	
・ガレキのかたづけが進んで欲しい。	50代	女性	
・希望の持てる生活を望みます。	50代	女性	
・安心して生活が出来る様にお願いします。	50代	男性	
・国会の先生方、ぐだぐだ言っていないで超党派で決めてください。	60代	女性	
・国会だけが国民の場ではないですよ。被災者の気持ちを知ってくれ。	60代	男性	唐丹町 大曾根 仮設住宅
・一日も早く、安心して住める家を建ててください。(復興住宅を含む)	55歳	女性	
・皆さんの笑顔は幸せにつながるよ! (色々な支援団体の方々のおかげで幸せを感じることに感謝しますとのことらしいです)	60代	男性	
・家がほしい。何で高台移転が出来ないのか。	40代	女性	
・公営住宅を早く建ててほしい。釜石市から人が居なくなる前に！！	76歳	女性	
・国会議員の数を減らして浮いたお金で復興を進めて下さい。	70歳	男性	
・公営住宅の早期着工を！！家族みんなが笑顔でくらせることを願います。	50代	女性	
・党が違うからといって争わないで”良い事”はどんどんやっていって下さい。	70歳	男性	
・グラつかない政治を！！不安な毎日の生活がもっと不安になる。	60代	女性	
・国会議員数を少数精税に絞り、浮いた分を復興支援に回して下さい。	60代	女性	
・子供達に安心して生活できる場所、安心して遊べる場を提供してください。	28歳	女性	
・ガレキの処理を早くしてほしい。	65歳	女性	
・子供達が安心して遊べる場所、住宅を整えてほしい。	65歳	女性	
・三陸鉄道の全線復旧・インフラ整備を早急に！	54歳	男性	
・海の街へ戻れるように漁師や地元企業へのサポートをしてほしい。	20代	男性	
・校庭を埋め尽くしている仮設が役割を終え、子供達が伸び伸びと走り回れる環境になる事を願います。	30代	女性	
・とにかく、全部元通りにしてくれ！	32歳	男性	
・もとの街には戻れませんが、新しい街を早くつくりたい。	20代	男性	
・二重債務対策プログラム「被災ローン減免制度」を使おうと思ったが実際、生命保険を解約しないと言われ、やめました。	50代	女性	唐丹町 川目 仮設住宅
本当に使える制度を考えてほしい。	50代	女性	
・高齢者と中小企業に支援を	30代	男性	
・復興に向け最大限の努力をお願いします。	30代	男性	
・国の復興計画を一日も早く実施してほしい。	63歳	男性	
・情報が交錯して復興への流れがみえません。	55歳	男性	
・グループホームを全く自己資金で(補助ナシ) 修繕した人への支援を考えてほしい。	20代	女性	
・精一杯頑張ります。	25歳	男性	
・買物が大変ですので、小型バスでも出して下さい。	75歳	女性	甲子町 第3 仮設住宅
・釜石市でも過疎地で毎日の買い物が不便です。定期バスもありますが本数を増やして下さい。	75歳	女性	
・一日も早く公営住宅を建てて下さい。	75歳	女性	
・買物帰りのタクシー券を発行してほしい。	57歳	女性	

・早く前の場所に帰りたい。(海の見える場所に帰りたいということ)	69歳	男性	甲子町 第3 仮設住宅
・津波で取り残された人達も被害者です。	50代	男性	
本当の平等とはなんですか?	20代	女性	
・医療費控除期限をあと半年 伸ばしてほしい。	58歳	女性	
・公営住宅はいつになるやら・・・仮設にいつまでいることやら・・・	80代	女性	
・ローン問題を軽減してほしい。　一日も早く　　田中恵子	50代	女性	
・流された企業を再建させないと釜石市から若者・働き盛りの方々が 居なくなってしまいます。本人達の身になって考えてください。	20代	女性	
・早く安心して住める家を持ちたいです。　　阿部	60代	女性	
・計画だけではなく早く実行してほしいです。 復興住宅　一日も早く建ててほしいです。	60代	女性	
・民主党の皆さんへ　被災住民共々、付近の住民と共に闘っています。	60代	男性	
・野田内閣の皆様が健康でよりよいほうこうにご活躍できますよう 神様、どうぞお導きください。　アーメン	60代	女性	
・何も決まらぬ一年、あと何年待つのかな　　大久保栄夫	70歳	男性	
・仮設住宅の三年は長いです。一日も早く復興住宅を建てて欲しいです	30代	女性	
・一日も早く公営住宅を　　菊池八重子	75歳	女性	
・とにかく早く復興住宅を建ててください。　菊池	82歳	女性	
・一日も早く公営住宅を建ててください。　　立花みき	75歳	女性	
・一日も早く公営住宅を作ってください。　　吉田典子	53歳	女性	
・早く公営住宅を作ってください。	50歳	女性	
・早く安心して住める所がほしいです。	68歳	女性	
・医療費控除期限を延長してほしい。	62歳	女性	
・早く、土地の買い取りをいそいでほしい。	51歳	女性	
・早く復興の目途をしめしてほしい。	75歳	男性	
・安心して過ごせる家が欲しい(できれば一戸建)	76歳	女性	
・一日も早く公営住宅を建ててください。	75歳	女性	
・早くおちついて住める家を建ててください。	42歳	女性	
・安定・平和な日々が続きますように。	42歳	女性	
・被災地の事を考えているなら増税より先に国会議員の数を減らして下さい。	40代	男性	甲子町 第４ 仮設住宅
・企業グループ補助も良いけれど、本気で再建する者にも補助を	66歳	女性	
・早く自分の住宅に住めるようにお願いします。阿部山朝博	81歳	男性	
・　土地が何に使われるかによって、土地の値段が決まってくる…それを待っています	40代	女性	
・災害はよく天災でどうにもならないと言うが、大きく考えると七、八割は 人災なのではないか？	70代	男性	桜木町 仮設住宅
・脱原発。誰が責任取るの！！	30代	女性	
・写真(カメラ)をこよなく愛する自分だが、災害を撮るのみ迷いが生じた！	60代	男性	
・被災地にもっと足を運んで下さい。	30代	女性	
・もう少し自立再建にご支援お願い致します(自宅再建)	60代	女性	
・今どき消費税とはとんでもありません。被災者向けの対応も是非考えて 下さい。	60代	女性	
・岩手県です。一日も早く自分の家に住みたいです。元気でいるうちに。 今のままで頑張って下さい。	73歳	女性	
・子供達に安心できる住宅を早くあたえてほしいです。	30代	女性	
・増税しないように。	60代	女性	
・全ての国会議員、命のアサガオを育てよ！	50代	女性	
・野田総理大臣様へ	30代	女性	
・雇用保険、失業給付の延長を考えてほしい。 医療費一部免除の日数を延長してほしい。	60代	男性	

・義援金の収支はどうなっているのか？被災者に届いているのは ほんのわずかです。もう少し支援を願います。	60代	女性	桜木町 仮設住宅
・人生の卒業　仮設で終わらせないように！！	50代	女性	
・仮設延長する前に、住める家を建てて下さい。	70代	女性	
・復興はまず個人の自立からです。各個人の自立支援を強く望みます。	50代	女性	
・小分けではなく、一度に支援金をもらえたら自立しやすいです。	60代	女性	
・早く安心して住める場所へ引越したい。	30代	女性	
・国会議員の交通料金、一般市民と同じにして、 その分お金をもっと必要なところへ。	70代	女性	
・先が短い　復興を急いで下さい。	71歳	女性	
・脱原発　子供達に安全な未来を。	60代	男性	
・消費税増は、今本当に必要か、その前にやるべき事があったはず！！	60代	女性	
・グラつかない政治を！	60代	女性	
・脱原発　”誰が責任とるの？”	50代	女性	
・子どもと笑って暮らす平穏な日々を、待ち祈り続けています。	38歳	女性	
・野田総理さんへ　暑さと共に気持ちも暑くして復興願う。	60代	男性	
・ダメとかモウオワリの言葉は使わないことにしました。 仮設の方々の気持ちは前向き。あとおしお願いします。	80代	女性	
・二重ローンが少しでも払いやすい方法をお願い致します。	60代	女性	
・”住まい”と”就職”が復興には不可欠です。	60代	女性	
・消費税を上げないで！！8%位にしていただければ…	60代	女性	
・子どもたちにも安心してくらせる場所を確保して欲しい。	30代	女性	
・子供が遊べていた場所に仮設が入ってしまった。 子供達の遊ぶ場所を確保してほしい。	30代	女性	
・復興＝ボランティアではありません。国や自治体がしっかりして下さい。	75歳	男性	
・ガレキ問題や住宅問題(住宅ローン含めて)、被災地を定期的に視察してほしい。 決まった人ばかり来ていても何も始まらない。	30代	女性	
・仮設店舗へ入るのに以前お店を持っていた人にばかり拘っていると店舗街が 盛り上がらない。働きたい人達がどんどん被さい地から離れますよ。	30代	男性	
・自立再建にご支援お願いします。	40代	女性	
・早く安心して住める場所に住みたい！！	40代	女性	
・仮設住宅に入居している人達だけが被さい者ではありません！	50代	女性	
・引越してしまった人達が早く戻って来られる(被さい地)対策、 援助等お願いします。	29歳	男性	
・もっと現地視察に来て下さい。もっと仮設・近隣住民の話を聞いて下さい。	60代	女性	
・義援金はどうなっているのでしょうか？被災者にはほとんど届いてないです。 もう少し支援をお願いします。	40代	女性	
・工場などの早期再整備、雇用の充実、新しく商売を始める人への支援を お願い致します。	20代	男性	
・地元、被さい地の人が引越して帰って来るには時間がかかる。 他県の人が住みついてくれるよう制度をつくってほしい。	30代	男性	
・震災で体調崩し孫の母が入院中です。震災孤児だけでなくそういった 子どもの学費援助を考えて頂けると本当に助かります。	60代	女性	唐丹町 小白浜 仮設住宅
・誰か、１人が、動けば、必ず、皆さんで、動きますよ。 私は、今は、唐丹町の小白浜地域の皆さんために、復興の事たくさん 考えている所で、かなり困っています。私は、疲れましたよ。	30代	男性	
・普通の生活が早くしたい。	60代	女性	鵜住居 第２E 仮設住宅
・仮設住宅から出てどうなるかが心配。安心して住める家を。	60代	女性	
・消費税を上げないで下さい。	30代	女性	
・野田総理　部屋あいてるよ。　泊まりにきてみて	70歳	女性	
・安心して住める場所がはやくほしい。　小國文子	56歳	女性	

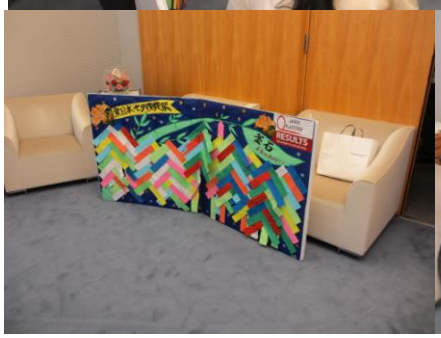
・復興まで気力で勝負だ。	78歳	男性	
・一日も早く仮設から一戸建の小さな(家)公営住宅に入って お庭の花を 咲かせて土いじりをしたいです。お願いします。　佐々木スエ子	61代	女性	
・今は、仮設も住めば都だけど、本音を言えば、自分の生まれたところに 1日も早く戻って生活したい。国の都合もあるけど、実際に沿岸部に 来てみるとそれどころじゃない。 行政のことは、それからでも間に合うのではないか。国の担当議員さんは 現状を見て分かっているだろうけど、沿岸部を見ないで国で「そうだろう」 「こうだろう」というのは、現場と国との思いがかみ合ってない。もう少し スピードアップして頂きたい。 最低限住める家をそれぞれに建てて頂きたい。 東京の娘の所に2か月世話になったけど、やはりふるさとが恋しい。	70代	男性	鵜住居 第2D 仮設住宅
・普通の生活が早くしたい。元の地区に戻りたい。	60代	女性	雇用促進 住宅洞泉 コーポラス
・国会は何をやってんだが…話し合いばかり。鵜住居地区にもどりたい人は40% です。	60代	男性	
・新しいお家を建てたいが、土地が高騰していてなかなか手に入らない。 知人や友人に手紙をいっぱい書いて手当たり次第に土地を探している。 土盛りしたところが一番安いが、孫は津波が来たところに「帰りたくない」 と言うのが前提にあるので…(10歳の子が人が流されていくのを見てしまった)	60代	女性	平田第2 仮設住宅

RESULTS
the power to end poverty

特定非営利活動法人　日本リザルツ
東京事務所
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2-11-16 さいかち坂ビル 403
事務局長　白須紀子　03-5280-2888　results.japan@gmail.com

岩手県遠野事務所
〒028-0500　岩手県遠野市遠野町 30-26-17
災害復興担当　村上智美、荘司洋子、木下美喜夫　090-9234-2986　murakamikami9@gmail.com

JAPAN PLATFORM

この事業は、特定非営利活動法人　ジャパン・プラットフォーム
による助成金を受けて実施しています。

WE JAPAN
東日本七夕復興祭
釜石
JAPAN PLATFORM
RESULTS